

資料1西 東 京 市
男女平等参画推進委員会
令和元年5月21日

会議録（案）

| | |
|---------|---|
| 会議の名称 | 男女平等参画推進委員会 平成30年度 第4回 |
| 開催日時 | 平成31年2月18日（月曜日） 午後6時00分から7時30分まで |
| 開催場所 | 田無庁舎 5階 502会議室 |
| 出席者 | 出席：石崎副委員長、安田副委員長、井上委員、苺草委員、小林委員、小松委員、佐々木委員、篠宮委員、鈴木委員、田村委員、中村委員、堀内委員、山田（尚）委員、山田（裕）委員 欠席：小澤委員長 事務局：白井課長、福田係長、樋口主査 |
| 議題 | (1) 第3回男女平等参画推進委員会会議録（案）の承認について (2) 西東京市第4次男女平等参画推進計画について (3) 西東京市第4次男女平等参画推進計画（概要版）について (4) パブリックコメント意見への回答について (5) 西東京市第3次男女平等参画推進計画等実績評価報告書（平成29年度）について (6) その他 |
| 会議資料の名称 | 【配布資料】 (1) 第3回男女平等参画推進委員会会議録（案） (2) 第4次男女平等参画推進計画（案） (3) 第4次男女平等参画推進計画（概要版）（案） (4) パブリックコメント意見への回答（案） (資料番号なし) 西東京市第3次男女平等参画推進計画・西東京市配偶者暴力対策基本計画実績評価報告書（平成29年度） |
| 記録方法 | <input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録 |

会議内容

【開会（男女平等参画推進委員会）】

- 副委員長：これより第4回男女平等参画推進委員会を開催いたします。
事務局より委員の半数以上が出席しており委員会が成立している旨の報告をした。
事務局より配布資料を確認した。

（1）第3回男女平等参画推進委員会会議録（案）の承認について

異議なく承認された。

（2）第4次男女平等参画推進計画（案）について

（資料2について説明）

- 委員：表紙が決まってよかった。資料編の年表（96ページ～99ページ）の見出しは、文字が小さい上に濃いグレーのアミがかかかっていて読みにくい。
- 事務局：アミは薄くする。

第4次男女平等参画推進計画（案）について承認された。

（3）第4次男女平等参画推進計画（概要版）（案）

（資料3について説明）

- 副委員長：男女の地位の平等感のグラフで、数値がグラフにかかって読みにくいところがある。
- 事務局：修正する。
- 委員：基本理念の改行の仕方を変えたので、わかりやすくなった。色合いもよいと思う。3ページ、パリテの写真は、何を言いたくてこの写真を使ったのか。視覚に訴えるものがなく、スペースがもったいない。
- 事務局：今年のパリテまつりの写真も含めて探してみたが、あまりよい写真がなかった。
- 委員：建物のロケーションがよいので、建物全体の写真はどうか。
- 事務局：住吉会館全体の写真になり、パリテの写真とは言いにくくなってしまう。
- 委員：イベントの写真はどうか。
- 副委員長：パリテのオープンスペースは、図書があり、テーブルがある。図書を読んだり、おしゃべりしていたりするなど、ふだんの様子が見える写真がよい。
- 委員：探すより撮り直した方が早いのではないか。
- 委員：オープンスペースは自由に人が出入りしている空間なので、人が利用している様子が見えるものがよい。
- 事務局：検討する。

- 委員：I－3の目標は、本編と同様、（減少が目標）と入れた方がよい。
 - 事務局：修正する。
 - 副委員長：最後のページには★印が重点課題であることが書かれているが、ここまでのページのどこかに、重点課題について説明した場所があるか。
 - 事務局：5ページの体系図、7ページのところに出ている。
 - 委員：☆が白だからわかりにくいかもしれない。
 - 委員：7ページの★が重点課題であることの説明は、文字が小さすぎる。フォントの大きさをそろえたほうがよい。
 - 事務局：検討する。25日（月）に印刷所に入稿する予定なので、大きな変更は難しいが、本編は今月いっぱいくらいまで、何かご意見があればご連絡をいただきたい。答申の際はこれを案として出すが、最終版は精査したい。
 - 委員：2ページ、計画の期間の1行目の文字が間延びしている。8ページの数値目標は表が小さいからかもしれないが、配偶者暴力対策基本計画、女性の職業生活における活躍推進計画の表記がないので、入れられないか。
 - 副委員長：その説明も入れるとかえって読みにくくなるので、こうなっているのだと思う。
 - 委員：計画期間は、4月から元号が変わることがわかっても「平成35（2023）年までの5ヵ年とします」という書き方をするものなのか。
 - 事務局：西東京市では、元号と西暦を併記するか、西暦だけにするか、主管課の判断でどちらかを選択することになっている。
 - 委員：平成35年はないのに、それでもこう書くと庁内で決めたのか。併記することと、元号が変わることとは、違う問題である。国もこうしているのか。気になった。この計画が出る頃には元号が変わっている。市民にどう見えるかを考えたほうがよい。
 - 副委員長：年の表記を修正するなら8ページも修正しなければならない。
 - 事務局：確認して、工夫させていただく。
 - 委員：市の他の計画も同じだと思う。市全体で考えて決めたことに合わせた方がよい。
 - 委員：概要版は、全体によくできている。最後のページはあまり色を使わない形になっていて、すっきりしてよい。
 - 副委員長：概要版はこのような方向で進めていただきたい。
 - 事務局：市長答申は2月20日（水）午後1時半から行う。出席される委員は、当日よろしくお願ひしたい。
 - 副委員長：確認になるが、意見がある場合はいつまでにお知らせすればよいか。
 - 事務局：概要版は今日まで、本編は2月いっぱいまでにお願ひしたい。
- (4) パブリックコメント意見への回答について**
- （資料4について説明）
- 委員：市報には紙面上の制約で回答は2つくらい掲載し、ホームページでは全部掲載するとの

ことだが、市報にはどの回答を掲載するのか。

- 事務局：資料4の2番目（性教育）と5番目（性的マイノリティへの支援）の意見とした。
- 委員：パブリック・コメントの意見を計画書に反映したのは2番目の意見だったので、それが掲載されることになってよかった。
- 副委員長：1番目の意見（DV被害者や加害者への対応）の回答について、「若年層への啓発等に取り組んでいきます」となっているが、「若年層を含め、幅広く啓発していきます」などとしてはどうか。若年層以外の幅広い年代層にも啓発は必要だと思う。
- 副委員長：「将来的な加害者の減少に向け」とあるので、若年層としているのだと思う。

(5) 西東京市第3次男女平等参画推進計画等実績評価報告書（平成29年度）について

（事務局より説明）

- 事務局：委員からメールをいただいた件について、委員の皆様と共有し、委員から補足があればお話を伺いたい。
- 副委員長：委員の皆様は、委員からのメールはお読みになったか。委員から、お話ししたいことがあればお願いしたい。
- 委員：実績評価について、一度はこのまま完成でもよいかと思ったが、子育てをしている市民の立場で意見を言わないのは、市民委員として参加している意味がないと思った。それで、委員の皆さんと共有したいと思い、メールをさせていただいた。
- 委員：前々回、委員がいらっしゃらないときに話が進んでしまった、ということだが、そもそもその時は何を話し合う予定だったか、確認したい。
- 事務局：9月に実績報告をまとめ、その後、計画案について各課に意見を聞く時間があった。その際、保育課から委員会評価について、「保育課としては子ども・子育て審議会による議論を踏まえて策定された子育て支援計画に沿って事業に取り組んでいるが、男女平等推進委員会からは評価されない。今後もそのような評価をされるのであれば、保育課は第4次計画の担当課から除外してほしい」という意見をいただいた。評価についてはグループでの承認を経て、委員会で承認を行っているが、計画策定の作業もあったため、全ての評価を全員が確認することは難しかった。そのため保育課の意見をふまえて評価を見直していただきたいと皆さんにお願いした。皆様からいただいた意見を事務局でまとめて案を作り、委員にメールで送って見ていただいた上で、12月17日の委員会で修正案を確認した。ABCの評価を変えると評価報告書全体に影響が出てしまうため、コメントのみを修正した。12月17日の委員会は、委員から遅れて出席する旨の連絡をいただいていたが、議題の順に話し合いを進めたため、委員が不在の間に議論をする形になった。来年度の委員会では第3次計画の30年度の評価をしていただくが、後半で第4次計画の評価方法について考えていきたいと考えている。
- 委員：来年度に期待する。
- 副委員長：委員から、ご意見などがあるか。

- 委員：特にない。
- 副委員長：実績評価は難しく、男女平等参画が進むように、どう書けばいいのか悩みながらやってきた。来年度は、どう評価をすれば市民と市と一緒に推進していけるのか、考えていきたい。

(6) その他

- 事務局：昨年度の市民意識調査から2年、今年度は、実績評価と計画策定を同時に作業していただいた。ご協力に感謝する。一言ずつご感想などいただきたい。
- 委員：評価は難しいと感じた。個人の多様な意見を委員会の意見としてまとめていくのは難しいが、大事なことである。幸せの形は市民一人ひとり違うと思うが、誰もが幸せだと思えるよう、応援できたらよいと思う。
- 委員：重点課題は委員の投票で選んだ。私はI-2が上位になるかと思っていたが、結果は違っていた。どのような基準で選んだのか、お聞きしたい。
- 事務局：基本目標ごとに1つは選びたいということで、その中で多かったものを選んだ。
- 委員：私は、自分が日頃関わっている部分の評価を担当したので、特に防災は、辛口の採点となったものが多かった。協働コミュニティ課はとても活躍されていると思った。
- 委員：委員の皆さんは表現、言葉の使い方へのこだわりがあり、意識が高いと感じた。それが勉強になった。いろいろな人がいて、いろいろなことを感じていることに気をつけていきたい。
- 委員：このような会議に出席させていただき、西東京市の独自性を感じた。関わる以上はもっと西東京市のことを知らないといけないと思った。
- 委員：市役所の仕事全般に関わる内容で、いつもはそのような見方をしたことがなかった。
- 委員：委員各自がベストを尽くしてここまでやってきただけでなく、事務局もよくやっていただいた。この体系はどこに出しても恥ずかしくないものだと思う。小学校でも声に出して読んでほしいくらいだ。来年度も、評価がどのように生かされるかを考えながらやっていけば、もっとよいものになる。
- 委員：市民委員が自身の体験をふまえて発言し、学識経験者委員がよいアドバイスをしてくださった。よい委員会だった。
- 委員：前任者からの引継ぎで7月31日から参加したが、活発な意見が出た委員会だと思う。青年会議所もSDGsを推進していこうとしており、多様性を認める社会になっていくなかで、さまざまな意見を聞いてよかった。議論に積極的に参加できるように勉強していきたい。
- 委員：教育関係者自身が教育分野を評価するのはおかしいと思ったので、別の分野を担当させていただいたことがよかった。他の会議と重なることがあって今年はあまり参加できなかったが、教育が担う部分も多いので還元していきたい。
- 委員：前期から引き続き評価ができたことで、変化が見えてよかった。
- 委員：計画策定は初めてだったので大変だった。評価も計画も同時進行だったので、たくさん

メールをやりとりした。メールを読むのが遅くなってご迷惑もおかけしたかと思うが、よい経験になった。

○副委員長：私にとっては、計画策定は2回目になる。市のことをよく知って委員会に関わりたいというご意見があったが、私は逆に、外からの風を吹き込みたいと思って参加した。この委員会は、みんな熱心で、まじめに意見を出してくださるので、素晴らしい集まりだと思う。事務局の方もお疲れさまでした。

○副委員長：私も計画策定は初めてだった。計画ができれば、実効性をもってどれだけ進めるかが肝心なので、皆様と一緒に考えていきたい。事務局の皆様、お疲れさまでした。

(6) その他

○事務局：明後日の答申にご出席いただく方は、少し打ち合わせをしたいので、この後、残っていただきたい。次回委員会は、5月21日（火）18時から、田無庁舎502会議室を確保した。今年度は月曜日の開催だったが、来年度は第3または第4火曜日を考えている。来年度は全6回、5月、6月、7月は実績の評価を行い、後は10月、11月、2月頃に第4次計画の評価方法についての議論を中心に開催を予定している。詳しい日程等はメール等でお知らせする。

○事務局：センターで3月に開催する講座のチラシをご用意した。お持ち帰りいただき、お知り合いの方にお知らせいただきたい。

【閉会】